

令和4年度緑区区政運営方針

(みどりっちプラン)

基本目標：笑顔のあふれるまちをめざして

将来像 1	安心・安全で快適に暮らせるまち	2
施策 1	安心・安全で災害にも強いまち	2
施策 2	環境にやさしく快適なまち	7
施策 3	地域をつなぐ絆づくり	9
施策 4	協働によるまちづくり	11
施策 5	便利で住みよいまち	12
将来像 2	子ども・高齢者・障害者 誰もがいきいきと暮らせるまち	13
施策 6	子どもの健やかな育ちを支えるまち	13
施策 7	人にやさしい福祉のまち	16
施策 8	健康づくりができるまち	20
将来像 3	魅力にあふれ歴史・文化を大切にするまち	22
施策 9	魅力の発信と観光推進	22
施策 10	歴史・伝統の継承	23
施策 11	文化・芸術・スポーツ活動の支援	24
将来像 4	親しまれ信頼される区役所づくり	26
施策 12	快適な市民サービスの提供	26
施策 13	区役所機能の強化	28



名古屋市緑区役所

この区政運営方針は、「区役所改革基本計画」（平成19年12月策定）に基づき、毎年策定するものです。緑区の現状や地域の課題をふまえ、行政サービスを向上し、区民生活の充実を図るため、令和4年度の区政の重点的な取り組みをお示ししています。

緑区では、SDGs（※）の理念を踏まえながら、取り組みを進めていきます。

※SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略です。



将来像 1 安心・安全で快適に暮らせるまち

成果指標	当初値	直近の 現状値	目標値 令和 5 年度
犯罪がなく安心して暮らせると思う人の割合	76.6%	79.6%	86%
家庭内において災害に対する備えをしている人の割合	57.8%	59.0%	100%
地域活動やボランティア・NPO活動に参加している人の割合	42.2%	42.4%	48%



《令和 4 年度の具体的な取り組み内容》

施策 1 安心・安全で災害にも強いまち

【重点事業】大規模災害に備え各種防災訓練を実施します 区役所(総務課)、緑消防署はじめ各公所(署)			
南海トラフ巨大地震や風水害に備え、各種防災訓練を実施します。地区防災カルテを活用したり、要配慮者への視点を取り入れたりするなど、地域特性や地域のニーズに応じた実効的な訓練を実施し、防災意識の向上と地域防災力の強化を図ります。			
訓練名	開催日	訓練会場	訓練想定
総合水防訓練	5 月 29 日 (日)	鳴子小学校 新海池公園	風水害
総合防災訓練	9 月 4 日 (日)	片平小学校	地震
宿泊型避難所開設訓練	9 月 24 日 (土) 25 日 (日)	桃山小学校	地震
全学区避難所開設訓練	7 月～10 月	区内28学区	風水害・地震
目標：各訓練参加者アンケートにおいて、「災害時に必要な対応が理解できた」と答えた方の割合 95% (3年度実績 92.5%)			



【総合水防訓練】



【総合防災訓練】

【重点事業】緑区防災フェスタを開催します（区役所（総務課）はじめ各公所(署)） 日常的な備えや災害時に役立つ様々な知識を楽しみながら学ぶことができる体験型プログラムが豊富な防災・減災イベント「緑区防災フェスタ」を11月5日（土）に区役所において開催します。 目標：来場者アンケートで「今後も参加したい」と答えた方の割合 95% （3年度実績 94%）
--



【緑区防災フェスタ】

緑区安心・安全で快適なまちづくり協議会を中心としたまちづくりを推進します 拡充 （地域力推進室、保健センター、緑警察署、緑消防署、緑環境事業所、緑土木事務所） 安心・安全で快適なまちづくり推進のため、警察などの関係機関や地域の皆さまと連携した犯罪・事故防止の対策・啓発キャンペーンの実施とともに、消防など関係機関と連携して空地・空家の適正な管理の促進などに取り組みます。また、新たにオリジナル横断幕を利用して、交通安全、防犯の啓発に取り組みます。 目標：アンケートで「安心・安全で快適なまちだと感じる」と答えた方の割合 95% （3年度実績 95.9%）



【交通安全教室】

放火されない環境づくりを推進します（緑消防署）
火災原因上位の放火に対して、地域の皆さまと協力して「放火防止パトロール」や「住宅防火に関する相談会」を行うことは、区民の皆さま一人ひとりの防火意識の高揚が図れます。また、火災の早期発見に有効な住宅用火災警報器の設置促進に取り組みます。
目標：放火防止パトロール 2 回実施（3 年度実績 3 回） 住宅防火（住宅用火災警報器の設置・交換）に関する相談会 2 回実施（3 年度実績 2 回）

緑市民病院から犯罪の抑止、生活・安全に関わる情報啓発を行います（緑市民病院、緑警察署）
昨年より、院内で行う特殊詐欺被害防止に向けた各種犯罪防止啓発活動について、新型コロナウイルス感染症対策を考慮した活動方法にシフトしております。 皆さまを病院へ直接来院頂いたところに直接警察官をお招きしての啓発ができない状況の中で、通常診療時の待ち時間に視聴して頂けるデジタルサイネージ（院内情報モニター）を活用した情報量を従来よりも増やし、情報も時季を考慮するなどした取り組みを行います。
目標：デジタルサイネージによる情報提供の更新回数 年 4 回

災害時における共助のしくみづくりを推進します（総務課、緑消防署）
大規模災害による人的被害を最小限にするため、各種防災訓練に発災直後を想定した安否確認の要素を取り入れるなど、共助のしくみづくりを推進します。
目標：訓練参加者アンケートで「災害時に必要な対応が理解できた」と答えた方の割合 95%（3 年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により中止）



【安否確認訓練】

地区防災カルテを活用した地域防災活動を推進します（総務課、緑消防署）
地域の皆さまが自主的・主体的に地域の防災について考え、活動できるように地区防災カルテを活用し、区署のほか防災関係機関が連携し地域特性や地域のニーズに応じた地域防災活動を支援します。
目標：地区防災カルテを活用した防災訓練等実施学区 10 学区（3 年度実績 10 学区）

親子防災イベント「あそぼうさい・まなぼうさい」の開催を支援します（総務課）
防災訓練などに参加しづらい環境にある子育て世代の自助力向上を図るため、名古屋みどり災害ボランティアネットワークが主体となって開催する親子防災イベント「あそぼうさい・まなぼうさい」を支援します。
目標： 来場者アンケートで「今後も参加したい」と答えた方の割合 90% （3 年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により中止）



【あそぼうさい・まなぼうさい】

災害への備えを充実するため、普及啓発を推進します（総務課）
家庭内での備蓄や家具転倒防止などの災害への備えを充実するため、各種防災訓練やイベントなど様々な機会を捉え、防災啓発リーフレットを活用して普及啓発を推進します。
目標： 「防災啓発リーフレット」2,000 枚配布

防災に関する講座を行います（緑生涯学習センター）
区民の防災意識啓発のため防災に関する講座を、緑区社会福祉協議会をはじめ、関係機関やボランティアグループと連携して実施します。
目標： 防災に関する講座、事業の開催 5 回（3 年度実績 5 回）

災害ボランティアセンターの役割をPRします（緑区社会福祉協議会、総務課）
大規模災害発生時に、支援を必要とする人とボランティアを結び付け、被災者の生活に寄り添って復旧・復興に向けた支援を行う災害ボランティアセンターについてPRします。また、効果的なセンター運営を円滑に行うため、関係者によるセンター立ち上げ訓練を行います。
目標：イベントでのPR活動やセンター立ち上げ訓練の実施年1回（3年度実績1回）

消防団員の確保を支援します（緑消防署）
南海トラフ巨大地震や近年多発している豪雨災害に対応するため、消防団員の充足率向上を図る必要があります。そのため、各種行事などを通じて積極的に消防団員募集広報を行い、消防団員の確保に努めます。

区民一人ひとりの防災力の向上を図ります（緑消防署）
南海トラフを震源とする巨大地震などによる被害は、十分な震災対策を行えば大幅に軽減できるとされています。区民の皆さま一人ひとりに対し、家具などの転倒防止や地震火災対策等で、事前に備えることの重要性を様々な機会を利用して積極的に啓発します。
目標：戸別訪問による啓発活動 7学区（3年度実績 5学区） 防災教室等による啓発活動 150回（3年度実績 150回）

事業所と地域との支援協力体制を推進します（緑消防署）
地震や台風などの大規模災害時には、事業所と地域の住民との一体的応急活動が必要です。このため、区内の事業所が所有する建物、土地、資器材などを地域住民の方々が活用できるよう、事業所と地域双方の協力体制の構築を支援します
目標：支援協力に関する覚書の締結 90事業所（3年度実績 89事業所）

災害活動の迅速な対応をめざし、名水協との連携強化を図ります（上下水道局緑営業所）
災害時に名古屋市指定水道工事店協同組合（名水協）の協力を得ることで応急給水をはじめとする災害活動の迅速化が図れるよう、防災訓練などを通じて名水協緑支部との連携体制を強化します。



【名水協との合同防災訓練】

施策 2 環境にやさしく快適なまち

緑区クリーンキャンペーン・なごや 2022 を実施します (地域力推進室、保健センター、緑環境事業所、緑土木事務所)
まちの美化を推進するため、地域と行政が協働して清掃を行う、「緑区クリーンキャンペーン・なごや 2022」を 6 月 4 日(土)を中心に開催します。
目標：メイン会場参加者アンケートで「町を美しくする活動に関心が高まった」と答えた方の割合 95% (3 年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

緑区環境バザーを開催します (地域力推進室、緑環境事業所)
リユースに対する意識を高めるため、区内の女性団体が中心となり、5 月 28 日(土)に区役所講堂において「緑区環境バザー」を開催します。
目標：売上品数 1,800 点 (3 年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により中止)



【環境バザー】

環境デーなごや 2022in みどりを開催します (緑生涯学習センター)
本市の環境デーなごや事業の一環として、「生き物」や「食」などのテーマの中で、環境保全などに関する活動をしている方を講師とし、体験を通して環境の大切さや素晴らしさを学ぶことができるような事業を開催します。
目標：参加者アンケートで「満足した」と答えた方の割合 95% (3 年度実績 100%)

地域環境イベントを開催します（緑環境事業所、南東部公害対策担当）
ごみ問題や地球温暖化対策など、環境問題に関心を持つきっかけとするため、5月28日（土）に「地域環境イベント」を開催し、環境問題に主体的に参画する人づくり・人の輪づくりを推進します。
目標：参加者アンケートにおいて、「環境問題への関心が高まった」「よりよい環境づくりに向け行動するきっかけになった」と答えた方の割合 95% （3年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

資源・ごみの分別推進に取り組みます（緑環境事業所）
6月、11月の分別マナーアップ推進月間をはじめとして様々な機会をとらえ、資源とごみの分別の徹底を呼びかけ、ごみ減量や再資源化の取り組みを推進し、さらなるごみ減量をめざします。



【資源・ごみの分別】

ペットの愛護と適正な飼育の普及啓発を行います（保健センター）
快適なまちづくり実現のため、ペットの愛護について普及啓発するとともに、犬猫の適正飼育、マナー向上の啓発活動を実施します。また、災害発生時におけるペットの災害対策についても普及啓発します。
目標：ペットに関する啓発活動・講座の開催 5回（3年度実績 5回）

施策３ 地域をつなぐ絆づくり

【重点事業】緑区区民まつりを開催します（地域力推進室）
ふるさと意識の高揚と地域の活性化を図るため、10月22日（土）に大高緑地において「緑区区民まつり」を開催します。緑区の魅力を発信するとともに、区民の皆さまのふれあいと交流の場として地域の絆・連携を深めます。
目標：来場者アンケートで、区民まつりに来場して「満足した」と答えた方の割合 95% （3年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により中止）



【区民まつり】

町内会・自治会への加入を促進します（地域力推進室）
町内会・自治会加入促進のため、区役所・支所への「みどりっちポスト（町内会・自治会加入申込受付ポスト）」の設置とあわせ、電子申請システムを活用し、加入希望者の申し込み手段を一部電子化するなどの利便性向上を図ります。また、加入促進リーフレットの学区行事や各種キャンペーンでの配布、関係公所と連携した転入・転居世帯への配布に取り組みます。
目標：学区行事や各種キャンペーンでのリーフレット頒布 10回 （3年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により中止）



【みどりっちポスト】

緑生涯学習センターまつりを開催します（緑生涯学習センター）
緑生涯学習センターを利用している自主学習グループ相互の交流と日頃の学習成果発表の場の提供を目的とした「緑生涯学習センターまつり」を11月12日（土）及び11月13日（日）に開催します。 グループ活動の周知・活性化を目的として、「SNS」での情報配信や「YouTube」を使った動画配信を、グループと協力しながら実施します。
目標：来場者アンケートで「満足した」と答えた方の割合 95% （3年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

徳重地区会館まつりを開催します（徳重地区会館）
地域にお住まいの方を中心に、多くの方が気軽に参加のできるおまつりを目標として、「徳重地区会館まつり」を11月20日（日）に開催します。 無料で体験ができるイベントやミニゲームなど、様々な年代の方が楽しんでいただけるおまつりを目指します。
目標：参加者アンケートで「満足」と答えた方の割合 95%（3年度実績 95%）

徳重地区会館における住民参加型自主事業を実施します（徳重地区会館）
過去の事業内容を見直し、参加者アンケートやお客様の要望を中心に、様々な年代の方に参加いただける事業を計画します。 また昨年度に満足いただいた事業に関しては、今年度も引き続き計画し、より多くの方に満足していただける事業を目指します。
目標：実施事業 10 事業（3年度実績 10 事業）

区民と区内農家の交流及び地産地消を推進します（東部・緑農政課）
新鮮な野菜や果物を扱う直売所や朝市での会話を通じて、区民が区内の農家と交流を深めていただくとともに、地産地消を推進するための取り組みとして「地産地消スタンプラリー」を、7月から9月にかけて実施します。
目標：ハガキの有効応募件数 400 件（3年度実績 657 件）



【地産地消スタンプラリー】

人権に関する講座・事業を開催します（緑生涯学習センター、地域力推進室）
価値観や考え方が複雑化・多様化する現代において、市民一人ひとりの人権が尊重され、差別や偏見がなく、互いの個性を認めあい支えあうまちづくりをすすめていくため、様々な分野の人権問題を、市民一人ひとりが自らの問題として気付き、学び、行動できるようにするための講座・事業を開催します。
目標：人権に関する講座・事業の開催 6 回（3 年度実績 6 回）

施策 4 協働によるまちづくり

花・水・緑の公園通り推進事業を促進します（地域力推進室）
花と緑のまちづくりを推進するため、花水緑の会とともに「花・水・緑の公園通り」における花植え・緑化活動を継続します。また、各種イベントでの花植え・緑化活動の PR に取り組みます。
目標：イベントなどでのアンケートで「花植え・緑化活動をよいと考える」と答えた方の割合 95%（3 年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

区民プラザにおける区民活動を支援します（支所）
地域住民の憩いと集いの場であるユメリア徳重内の区民プラザを安心・安全・快適な空間とするため、地元ボランティアグループ「みどり区民プラザサポータークラブ」が取り組む施設の案内・見守り活動を始め、季節ごとのイベントの実施や、情報誌の発行などの活動を支援します。また、福祉会館などでサポータークラブの活動紹介を行うなど、サポータークラブへの入会者アップに向け取り組みます。
目標：案内・見守り活動 1 週間あたり 8 回（3 年度実績 9 回）

ボランティア団体の竹林整備事業を支援します（みどりが丘公園事務所）
公園の緑や環境の保全を目的に、なごやの森づくり活動団体「なごや竹和会」の竹林整備活動をサポートします。また、みどりが丘公園会館で開催される「なごや竹和会」主催の各種体験教室（竹材活用講座・園芸教室・竹細工教室など）も支援します。
目標：竹林整備 9 回（3 年度実績 9 回）

施策 5 便利で住みよいまち

道路・公園の整備をすすめます（緑土木事務所）
機能的な都市活動と安心で安全な市民生活を確保するため、都市計画道路（古鳴海停車場線）の整備を継続して行います。 また、みどりが丘公園は、市民ニーズに応じた墓地を提供するため、合葬式墓地等の整備をすすめます。

市街地の整備をすすめます（緑都市整備事務所、地域力推進室）
鳴海駅前では、駅北部のA・B工区において地区を活性化する施設建築物の早期建築をめざし、市街地再開発事業をすすめます。また、事業完了後の姿を見据えたまちづくりについて、地域住民の意見を踏まえて関係機関と連携します。大高駅前では、生活環境の改善と防災性の向上を図るため、土地区画整理事業と大高町線街路事業をすすめます。



誰もが安心して利用できる市バスをめざします（交通局緑営業所）
市バスは、区民の皆さまにとって通勤、通学、買い物など、日常生活に欠かせない交通手段です。その機動性を活かして、皆さまが安心してご利用できるよう、安全・安心・快適な運行に努めます。

将来像 2 子ども・高齢者・障害者 誰もがいきいき
と暮らせるまち

成果指標	当初値	直近の 現状値	目標値 令和５年度
子育てしやすいまちだと思ふ人の割合	84.9%	88.4%	86%
生きがいや楽しみを持って生活していると感じている高齢者の割合	78.3%	78.1%	80%
健康寿命 (平均寿命)	男性80.50年 女性84.60年 (男性82.00年) (女性88.07年)	男性80.95年 女性84.70年 (男性82.51年) (女性88.05年)	平均寿命の延びを 上回るよう延伸



《令和4年度の具体的な取り組み内容》

施策6 子どもの健やかな育ちを支えるまち

【重点事業】みどり親育ちのがっこう（子育て講座）を開催します （民生子ども課、保健センター、緑生涯学習センター、緑児童館）
子育ての悩みや孤立などが解消されるよう、各年代（乳児から小学生）の子を持つ親に対して、関係機関・団体が連携し、子育て知識の習得や仲間づくり、父親の育児参加の機運の醸成など、親が親として育つことを応援する様々な学びの場を企画・開催します。また、自分に合った講座を探しやすいように、共同でチラシを作成し、一覧で示したわかりやすい情報を区民に届けます。
目標：各講座アンケートで「参加してよかった」と答えた方の割合 95% (3年度実績 100%)



【みどり親育ちのがっこう】

【重点事業】児童虐待を防止します（民生子ども課、支所、保健センター、東部児童相談所、なごや子ども応援委員会、緑警察署）

児童虐待を防止するため、学校、保育所、幼稚園、児童委員のほか、日頃から児童に接する機会の多い団体などと連携して早期発見・早期対応し、支援を要する児童や家庭への援助を行います。また、5月及び11月の「児童虐待防止推進月間」を中心に、児童相談所虐待対応ダイヤル「189」を始めとする児童虐待防止に関する周知を精力的に展開するとともに、虐待を未然に防ぐための「みどり親育ちのがっこう」をはじめとした子育て講座を開催するなど啓発活動に取り組みます。



【児童相談所虐待対応ダイヤル 189】

多様なニーズに応じた子育てを支援します（保健センター）

子どもの発達に心配を持つ親や、高年妊産婦など、多様化するニーズに対応した子育て講座を開催し、子育てを支援します。

目標：発達が心配な幼児と親対象の「子育て教室」の開催 8 回（3 年度実績 4 回）

子どもの事故予防・救急法教室を開催します（保健センター）

子どもの死因上位が“不慮の事故”のため、親や周囲の大人が事故予防や“揺さぶられ症候群”の予防・救急法・心肺蘇生法を学び、子どもの命を守ることができるよう「子どもの事故予防・救急法教室」等を開催します。

目標：「子どもの事故予防・救急法教室」実施回数 14 回 140 人
（3 年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

子どもが育つ地域のつながりづくり事業及び子ども会の支援を推進します (民生子ども課、緑区社会福祉協議会、緑児童館)
子どもが豊かに育つ地域づくりをめざして、民生委員児童委員やNPOと協働し、子どもの遊び場・地域の交流の場としての「プレーパーク」(※)を区内3か所で定期開催するとともに、新たな開催候補地区で試行実施します。また、区内の「子ども会」に対し、加入促進を含めた支援を行います。 (※プレーパーク：子ども自らが「やってみたい」という衝動や好奇心によって、さまざまなことに挑戦し、冒険できる遊び場)
目標：大高南地区、鳴子地区、鳴海東部地区でのプレーパークの開催毎月1回 (3年度実績 毎月1回) 新たな開催候補地区での試行実施



【プレーパークの様子】

子ども向けのシリーズ事業「ゆめみどり」を開催します (緑文化小劇場)
地域の未来を担う子どもたちに文化芸術にふれる機会を提供するとともに、子育て世代の交流の場を創出するため、コンサートなど子ども向けの公演を開催します。
目標：来場者アンケートで「良かった」と答えた方の割合 95%

子ども読書活動を推進します (緑図書館、徳重図書館、保健センター)
乳幼児が成長過程で読書に親しみ、図書館へ通うきっかけ作りの活動に取り組みます。「はじめての本との出会い事業」として、保健センター及び徳重分室での健康診査の待ち時間を利用して、絵本の紹介や読み聞かせをボランティアの方と協力して実施します。

施策 7 人にやさしい福祉のまち

【重点事業】緑区地域包括ケア推進プラン 2019 を推進します

(福祉課、支所、保健センター、緑区社会福祉協議会、いきいき支援センター、医師会、歯科医師会、薬剤師会等関係機関)

2021 年度に中間評価を行った「緑区地域包括ケア推進プラン 2019 (計画終期 2023 年度)」に基づき、医療、保健、福祉、介護の関係機関との連携により、高齢者の見守りに関する講演会や認知症の普及啓発を行い、地域包括ケアシステムの深化を図ります。また、国立長寿医療研究センターが行う認知症予防の研究に、引き続き協力します。



【緑区地域包括ケア推進プラン 2019】

【重点事業】「緑区あんしんカード」などにより、高齢者の孤立防止を強化します

(福祉課、支所、緑区社会福祉協議会)

高齢者の孤立防止のため、民生委員や老人クラブの見守り活動を支援します。また、緊急時に役立てるため、民生委員を通じて緊急連絡先などを記載した「緑区あんしんカード」を、65 歳以上のひとり暮らし高齢者に加え、75 歳以上の高齢者のみ世帯へも拡大して配付します。

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯以外の人にも使えるように、引き続き、ウェブサイト「緑区あんしんカード」を掲載します。

目標：「緑区あんしんカード」4,970 枚配付 (3 年度実績 3,236 枚)



【緑区あんしんカード】

【重点事業】障害のある方が作った製品の販売を支援します 拡充 （福祉課、支所） 障害者の就労を支援し、障害への区民理解を深めるため、区役所・ユメリア徳重内に「みどり福祉の店」を設置するほか、ショッピングモールにおける「みどり福祉の店フェア」の開催や障害のある方が作った製品について、新たに令和３年度作成の製品を紹介する冊子を活用し、地域や学校等と調整して販売機会の拡大を図るなどの支援をします。 目標：展示販売コーナーの設置 330 回（３年度実績 246 回）



【みどり福祉の店フェア】

【重点事業】障害児を育てる親のグループ等の活動を支援します （保健センター） 障害児や医療的ケアが必要な児童を育てる親のグループなどに、保健センター施設の無償貸出、保健師の参加、講演・交流会の開催により障害児が地域で健やかに育つよう支援します。 目標：講演会、交流会の開催 年 2 回（３年度実績 2 回）
--



【障害児を育てる親を対象とした講演会の実施】

あたたかく見守り、お互いさまの気持ちで支え合える地域づくりをめざします (福祉課、支所、緑区社会福祉協議会)
孤立防止・見守り支援についての講演会及び関係機関や地域団体による日頃の活動や現状について報告するシンポジウムを11月を目途に開催します。また、地域での高齢者見守り活動につなげるため、専門家の講義を収録したDVDを引き続き、貸し出します。
目標：シンポジウムの参加者数 200人

認知症になっても支え合って暮らせる地域づくりをめざします 拡充 (福祉課、支所、保健センター、いきいき支援センター、国立長寿医療研究センター)
認知症の方に一層寄り添えるよう、新たに若い世代をターゲットとした認知症サポーター養成講座の開催を行います。また、「認知症の方にやさしい店」のフォローアップや本人や家族同士などの情報交換の場となる「認知症カフェ」の登録を推進するほか、脳活体操を広める「脳活体操リーダー」の活動を引き続き支援します。 また、地域での見守り活動を行う民生委員の委嘱を新たに受ける方に、認知症サポーター養成講座のご案内をします。 (令和4年3月31日現在) 認知症の方にやさしい店 156か所 認知症カフェ 22か所
目標：新たに若い世代をターゲットとした認知症に関する普及啓発講座の開催 1回

介護予防に活発に取り組む地域づくりをめざします (保健センター、福祉課、支所、いきいき支援センター、緑区社会福祉協議会)
若いころから健康づくりに取り組む地域をめざして、“子どもから大人までみんなにきらきら輝いてほしい”という思いが込められた緑区オリジナル「きらきらマン体操」をYouTubeや貸出DVDを活用して普及し、介護予防をすすめます。
目標：きらきらマン体操の実施回数 15回、参加者数 200人 (3年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

地域支えあい活動を支援します(緑区社会福祉協議会、福祉課、支所、保健センター)
ちょっとした困りごとを、住民どうしの力で解決しあう取り組みである「地域支えあい事業」についてPRに努め、実施地域の拡大を図ります。
目標：地域支えあい事業新規実施学区 1学区

老人クラブへの加入を促進します（福祉課）
老人クラブの魅力や活動を広く周知し、加入を促進するため、区役所などのモニター放映、広報なごやでの広報や、独自に作成したチラシを高齢者が集まる行事で配布するほか、楽しく活動する様子をみどりっちフェイスブックで発信します。 （令和4年4月1日時点） 老人クラブ会員数 2,872人（内、70歳以上 2,670人） 老人クラブ数 69



【老人クラブ活動の様子】

緑区自立支援連絡協議会の活動を通して障害のある方がいきいきと暮らせるまちをめざします （福祉課、民生子ども課、支所、保健センター、緑区障害者基幹相談支援センター）
障害のある人もない人も、人格と個性を尊重し合いながら共に生きる地域社会の実現をめざすため、障害者及び家族、福祉事業者、関係団体と行政機関で構成する「緑区自立支援連絡協議会」を中心に、権利擁護（差別解消、虐待防止）など様々な課題を抽出して、解決に向けた取り組みを進めます。

「障害のある人もない人も共につくる緑区民のつどい」を開催します （福祉課、支所、保健センター、緑区社会福祉協議会、緑区障害者基幹相談支援センター）
障害への区民理解を深めるため、緑区自立支援連絡協議会主催による「障害のある人もない人も共につくる緑区民のつどい」を開催します。
目標：参加者アンケートで「満足した」と答えた方の割合 90%（3年度実績 88%）

施策 8 健康づくりができるまち

【重点事業】新型コロナウイルスなどの感染防止にかかる巡回指導などを実施します 新規 （保健センター）
新型コロナウイルス感染症の施設内クラスター予防のため普及啓発をしていく必要があります。 従来から実施しているノロウイルスなどの感染防止に向けた巡回指導の実施に加えて、新型コロナウイルス感染症予防の指導を行います。
目標：巡回指導の実施 対象施設 14 か所（保育園及び幼稚園）

【重点事業】健康志向のコミュニティづくりをめざします 拡充 （保健センター）
ポールウォーキング（※）講座の開催、ポールの貸出しやウォーキングマップの配布により、ポールウォーキングを推進して区民の誰もが楽しんで健康づくりに取り組むことができるコミュニティをめざします。また、従来のロコモ予防の目的に加えて、介護予防の目的も取り入れ、地域の高齢者サロン等で開催予定の講座参加者へのポールの貸し出しも行います。 （※ポールウォーキング：2本のポールを持って歩くことで高い運動効果が得られる。）
目標：ポールウォーキング講座 10 回（3 年度実績 4 回）



【ポールウォーキング】

被保護者の健康管理支援事業を実施します（保健センター、民生子ども課、支所）
市が実施する健康診査の結果に基づき、保健センターの保健師・管理栄養士などと区役所が連携し、被保護者の方の健康管理支援を行い、生活習慣病予防と自立促進に取り組めます。
目標：事業終了後に実施するアンケートで「健康を意識するようになった」と答えた方の割合 85%（3 年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

区民向けロコモティブシンドローム予防教室を開催します（保健センター）
若いころのからの健康づくりのため、子育て中のママを対象とした親子参加の教室などを開催します。また引き続き保健環境委員と協働し講座を開催し、地域への普及啓発に取り組みます。
目標：区民向けロコモ予防教室の開催 3 コース（3 年度実績 1 コース）

区内各所にスポーツ指導者を派遣します（緑スポーツセンター）
区民の健康維持・増進、意識的に体を動かすなど運動の習慣化を目的としスポーツ指導者を派遣します。
目標：実施回数 8 回（3 年度実績 10 回）

市民向け健康講座を実施します（緑市民病院）
コロナ禍以前では、病院へ皆さまにご来院頂き直接的な対面で行っていた「市民健康講座」ですが、新型コロナウイルス感染症対策を考慮した実施のあり方が求められます。 インターネット回線を利用したりリモート開催なども手段としてはあり得ますが、その為には皆さまにインフラや機材などの利用状況が整っている必要があります、皆さま向けの「市民講座」という趣旨で開催する講座として今後、開催方法や開催回数、開催内容に配慮しながら実施します。
目標：実施回数 年 4 回（3 年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

将来像 3 魅力にあふれ歴史・文化を大切にするまち

成果指標	当初値	直近の 現状値	目標値 令和 5 年度
緑区の魅力や歴史・文化で区外の人に紹介 したいものがある人の割合	47.8%	51.6%	65%
週 1 回以上の頻度で運動・スポーツを実施 する人の割合	39.0%	40.6%	48%



《令和 4 年度の具体的な取り組み内容》

施策 9 魅力の発信と観光推進

【重点事業】緑区の魅力を発信します 拡充 (地域力推進室)
緑区をおもてなしの心にあふれ、魅力ある観光地域として発展させていくため、「緑区観光推進協議会」の活動を推進します。令和 4 年度は、アフターコロナを見据え、緑区 PR ギャラリーや周遊イベント、観光 PR キャンペーンや観光ボランティアガイドの育成などを実施するとともに、「緑区魅力発見・まるっと発信！」や「あちこちマップ」を配布などすることで、国際芸術祭「あいち 2022」の開催会場となる有松地区、2023 年の大河ドラマなど注目が集まる緑区の魅力をイベントやキャンペーンで発信します。
【区の特性に応じたまちづくり事業】 【「区まちづくり基金」を活用した事業】
目標：観光 PR キャンペーンで実施する各種アンケートにおける緑区の様々な魅力に関する認知度 95% (3 年度実績 96%)



【緑区の魅力発信】

「みどりっち」を活用して緑区を PR します (地域力推進室)
区民の皆さまの緑区への愛着を高めるとともに、緑区の魅力を効果的に PR するため、緑区のマスコットキャラクターである「みどりっち」を積極的に活用します。
目標：アンケートで「みどりっち」を知っていると答えた方の割合 95% (3 年度実績 91.7%)

施策 10 歴史・伝統の継承

【重点事業】歴史文化交流支援事業を推進します 拡充 （地域力推進室）
緑区の歴史的・文化的な魅力を発信するとともに、区民の皆さまが地域への愛着を深められるよう、コロナ禍に対応したワイヤレスガイド付き散策会や歴史イベントなどを実施し、歴史・文化を発信します。
目標：参加者アンケートで「緑区の歴史について理解が深まった」と答えた方の割合 95% （3 年度実績 100%）



【歴史文化交流支援事業】

区の特徴を活かした講座を開催します（緑生涯学習センター）
緑区への関心をより一層高め、多くの方が緑区に愛着を感じ、誇りを感じることができるよう、緑区の歴史や文化、自然にちなんだ内容など緑区の魅力を学んだり、子育てについての学びやコミュニティーづくり、地域のマイスターグループ活動を体験するなど、まちづくりに関わる人が育ったりする講座を開催します。
目標：緑区の特徴を活かした講座の開催 6 講座（3 年度実績 6 講座実施）

伝統野菜である「大高菜」の普及やPRを図ります （東部・緑農政課、緑生涯学習センター）
あいちの伝統野菜である「大高菜」の普及・PRを図るため、区民まつりや区役所・支所等での種子配布や区役所玄関前における展示栽培を行います。また、緑生涯学習センターと共催で大高菜を使った料理教室も開催します。
目標：大高菜の種子配布 800 人（3 年度実績 900 人）

施策 11 文化・芸術・スポーツ活動の支援

緑区民美術展を開催します（地域力推進室）
区民の皆さまの日頃の創作活動の成果を発表していただくとともに、芸術への関心を深めるため、緑区文化協会と連携して区役所講堂において「緑区民美術展」を9月22日（木）から9月24日（土）まで開催します。
目標：来場者アンケートで「美術展を良いと思った」と答えた方の割合 96% （3年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

緑区民舞台発表会を開催します（地域力推進室）
区民の皆さまの日頃の練習の成果を発表していただく場を提供するため、区役所講堂において「緑区民舞台発表会」を11月12日（土）に開催します。
目標：出場者アンケートで「出てよかったと思った」と答えた方の割合 90% （3年度実績 86%）



【緑区民舞台発表会】

緑フェスタを開催します（緑文化小劇場）
劇場練習室を利用する文化団体に発表の場を提供するとともに、団体同士の交流の場を創出するため、文化祭「緑フェスタ」を開催します。地域の方々が気軽に立ち寄れるように、フリーマーケットや屋台の出店を行います。
目標：来場者アンケートで「良かった」と答えた方の割合 95%

地域劇団「劇団みどり」の活動を支援します（緑文化小劇場）
小劇場の演劇ワークショップから誕生した「劇団みどり」の活動を支援します。今年度は第10回記念公演を開催します。劇団が新しい地域コミュニティとなり、地域に活力をもたらすとともに、地域の方々が健康で生きがいを持って暮らすことができる社会の実現に貢献します。
目標：来場者アンケートで「良かった」と答えた方の割合 75%（3年度実績 66%）



【劇団みどりの活動】

生涯スポーツの振興を図ります（地域力推進室）
子どもから高齢者まで、幅広い世代の方が気軽にスポーツに親しみ、継続していくきっかけとなることができるよう、グラウンド・ゴルフ大会、軟式野球大会、歩け運動の会、レク・バレー大会、剣道大会、学区対抗駅伝大会など各種スポーツ大会を開催します。
目標：スポーツ大会の総参加者数 3,600 人 （3年度実績 新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

将来像 4 親しまれ信頼される区役所づくり

成果指標	当初値	直近の 現状値	目標値 令和 5 年度
窓口アンケートにおいて、窓口対応に「満足」と答えた人の割合	97.6%	98.0%	100%
区政に関して知りたい情報が十分に得られていると思う人の割合	37.0%	36.0%	45%



《令和 4 年度の具体的な取り組み内容》

施策 12 快適な市民サービスの提供

【重点事業】広報・情報提供の多様化を図ります（地域力推進室、総務課、企画経理室）
区ホームページ、フェイスブックなどインターネット上の広報及び新聞やテレビなどの広報媒体を利用した情報発信に積極的に取り組みます。また、区民へ情報がしっかりと伝わるよう、広報なごや区版の分かりやすい紙面づくりに取り組みます。



いいね！: saku_3939fit、他
midoriku_midorich スラッと並んだらま！
部分の頃になると、成海神社のだるま塚には、お役目を終えただるまがたくさん集まるんだ。
いろんな表情のだるま達、みんなで「お疲れさま」ってねぎらいあつてののかな？



MIDORIKU_MIDORICH

Instagram を
ご覧ください
(随時更新中)

【みどりっちの Instagram から】

【重点事業】新型コロナウイルス感染症対応に全力で取り組みます 拡充 (区役所（総務課）、支所)
安心して窓口に来ていただけるよう、アクリルパーテーションの設置やアルコール消毒液の備付けを始め、新たに自動水栓型の手洗い器を導入するなど、感染拡大防止対策を引き続き強化します。また、ワクチン接種についてももしっかり取り組んでまいります。

区役所、支所に無料 Wi-Fi を設置します（区役所（総務課）、支所） 新規
区民サービス向上のため、区役所及び支所に無料 Wi-Fi モバイルルーターを設置します。

フロアサービスを実施します（区役所（総務課）、支所）
お客さまの円滑な諸手続きのため、フロアサービス員を配置し、窓口案内などを行います。

日曜窓口を実施します （総務課、市民課、民生子ども課、福祉課、保険年金課、支所、税務窓口）
お客さまの利便性向上のため、原則として毎月第1日曜日の午前8時45分から正午まで、転入・転出に係る窓口業務を行います。

【開庁日】	4月	5月	6月	7月	※実施日は、やむを得ず変更または中止となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
令和4年	3日 10日	8日	5日	3日	
	8月	9月	10月	11月	
	7日	11日	2日	6日	
令和5年	1月	2月	3月		
	8日	12日	5日 19日 26日		

お誕生オリジナルお祝いカードをプレゼントします（市民課、支所）
窓口に出生届をご提出されたお客さまに、お子さまの健やかな成長の願いを込めて、これから必要となる手続き及び子育て相談や子育て支援制度のご案内を兼ねた緑区オリジナルのお祝いカードを進呈します。

「更生保護サポートセンター みどり」の活動を支援します（総務課）
保護司会が地域の関係機関・団体と連携しながら、犯罪や非行のない明るい社会を作るため、更生保護活動の拠点として、緑区役所内に設置した「更生保護サポートセンター みどり」の活動を引き続き支援します。

区民意見を区政に反映させます（企画経理室）
区民意見を区政に反映するために、みどりっちプラン（案）に対する意見募集、区民アンケートなどによる事後評価を行います。また、区政全般に関わる事項を議論する「緑区区民会議」、ワークショップ形式の「みどりっちプラン会議」などを開催します。「みどりっちプラン会議」では託児サービスの提供が可能であることを広報し、幅広い世代の積極的な参加を促します。
目標：区民アンケートで、各種取り組みについて「十分」「おおむね十分」と答えた方の割合 70%（3 年度実績 64.0%）



【みどりっちプラン会議】

施策 13 区役所機能の強化

職員の災害対応能力を伸ばします（総務課）
職員の災害対応能力を向上させるとともに、各学区の担当職員をあらかじめ定め、学区の避難所開設訓練をはじめ各種防災訓練に参加します。
目標：アンケートで「理解が深まった」と答えた職員の割合 90%（3 年度実績 90%）



【避難所開設訓練への職員の参加】

職員の業務遂行能力を伸ばします（総務課、企画経理室）
市民満足度の向上のため、接遇・経理事務などの職員研修や様々な課の若手職員が協力して業務改善に取り組むオフサイトミーティングなどを実施します。
目標：アンケートで、窓口対応に「満足」と答えた方の割合 97%（3 年度実績 98.0%）

《令和4年度自主的・主体的な区政運営予算執行計画》

区役所が自主性・主体性を発揮した取り組みを行うための予算として、令和4年度は人口規模等を勘案して、11,024,000円が緑区に配当されました。その執行計画は次のとおりです。

1 安心・安全で快適に暮らせるまち 金額 6,676,000円

- ・緑区防災フェスタを開催します
- ・親子防災イベント「あそぼうさい・まなぼうさい」を開催を支援します
- ・災害への備えを充実するため、普及啓発を推進します
- ・緑区区民まつりを開催します
- ・町内会・自治会への加入を促進します
- ・区民と区内農家の交流及び地産地消を推進します
- ・花・水・緑の公園通り推進事業を促進します
- ・区民プラザにおける区民活動を支援します

2 子ども・高齢者・障害者 誰もがいきいきと暮らせるまち 金額 2,708,000円

- ・みどり親育ちのがっこう（子育て講座）を開催します
- ・子どもが育つ地域のつながりづくり事業及び子ども会の支援を推進します
- ・「緑区あんしんカード」などにより、高齢者の孤立防止を強化します
- ・障害児を育てる親のグループ等の活動を支援します
- ・新型コロナウイルスなどの感染防止にかかる巡回指導などを実施します
- ・健康志向のコミュニティづくりをめざします

3 魅力にあふれ歴史・文化を大切に作るまち 金額 1,229,000円

- ・緑区の魅力を発信します
- ・歴史文化交流支援事業を推進します

4 親しまれ信頼される区役所づくり 金額 411,000円

- ・区民意見を区政に反映させます

合計 11,024,000円

《令和4年度区の特성에応じたまちづくり事業執行計画》

区の課題に対し、地域住民とともに重点項目として取り組むために、以下の事業を実施します。事業の実施にあたっては、皆さまからの寄付金を積み立てた「区まちづくり基金」を活用させていただきました。

緑区魅力発信事業2022	3,000,000円
（うち区まちづくり基金活用額）	（63,000円）

《令和3年度自主的・主体的な区政運営予算執行実績》

1 安心・安全で快適に暮らせるまち 金額 1,645,587円

- ・「あなたも狙われている！」不審者撃退キャンペーンを実施します
- ・緑区防災フェスタを開催します
- ・親子防災イベント「あそぼうさい・まなぼうさい」を開催します
- ・健康危機管理サポーターの自主化を支援します
- ・町内会・自治会への加入を促進します
- ・区民と区内農家の交流及び地産地消を推進します
- ・花・水・緑の公園通り推進事業を促進します
- ・区民プラザにおける区民活動を支援します

2 子ども・高齢者・障害者 誰もがいきいきと暮らせるまち 金額 2,068,206円

- ・みどり親育ちのがっこう（子育て講座）を開催します
- ・子ども会の支援及び子どもが育つ地域のつながりづくり事業を推進します
- ・「緑区あんしんカード」などにより、高齢者の孤立防止を強化します
- ・障害児を育てる親のグループ等の活動を支援します
- ・授産製品の販売を支援します
- ・障害のある方のお口を《歯援（支援）》します
- ・SNS配信によるお口と栄養の健康教育を実施します
- ・健康志向のコミュニティづくりをめざします

3 魅力にあふれ歴史・文化を大切に作るまち 金額 640,000円

- ・緑区観光推進協議会の活動を推進します
- ・歴史文化交流支援事業を推進します

4 親しまれ信頼される区役所づくり 金額 310,477円

- ・区民意見を区政に反映させます

合計 4,664,270円

《令和3年度区の特성에応じたまちづくり事業執行実績》

・緑区魅力発信事業2021 (うち区まちづくり基金活用額)	5,000,000 (99,000円)
----------------------------------	------------------------